

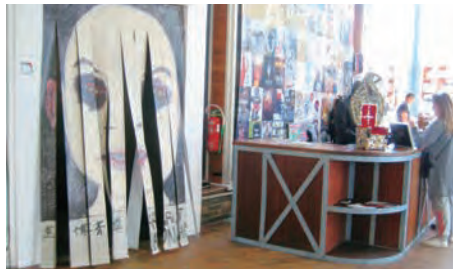


# フランスで開催中!「ジャポニスム2018」 ～精進料理で文化交流～

いわおかきくの  
岩岡基久乃さん(フランス・パリ在住)



▲街頭を飾るジャポニスム 2018 のポスター



▲ART BRUT JAPONAIS 展



▲パリの象徴 エッフェル塔



▲精進料理の会



▲精進弁当 :BENTO はフランスでも人気です。

今年は、日仏友好160周年を記念して、「ジャポニスム2018：響きあう魂」(JAPONISMES)と題した日本文化イベントが、パリを中心としたフランスの各都市で開催されています。歌舞伎、狂言、和食からマンガまで、さまざまな日本文化に触れることができます。

19世紀に日本文化が「ジャポニスム」としてフランスに紹介され、フランスの芸術家たちの手によってさまざまな作品が生まれました。ゴッホやモネが北斎から刺激を受け、ドビュッシーが「海」を作曲したように、日本とフランスの文化交流には長い歴史があります。

長い文化交流のなかで、フランスに住む日本人が主催している、日本文化を広めるアソシエーション(団体・グループ)も生まれました。私は、パリのアソシエーションで精進料理の会をお手伝いしています。

ベジタリアン、肉は食べないが魚

は食べる人、肉も魚も食べる人と、現代は食も多様化しています。その中で、摂生をしない「精進料理」は誰にでも受け入れられ、安心して食卓を囲むことができます。そして、禅の心を表している精進料理は、思想を大切にする理屈っぽくて哲学好きのフランス人にも納得のお料理なのです。

さまざまな日本文化活動に参加したフランス人たちが、日本に興味を持つようになり、「ジャポニスム2018」のイベントを通じて更に日本への理解を深めてくれることを願っています。私たちの小さな活動が「ジャポニスム2018」に貢献しているのかと思うと、とてもうれしいです。

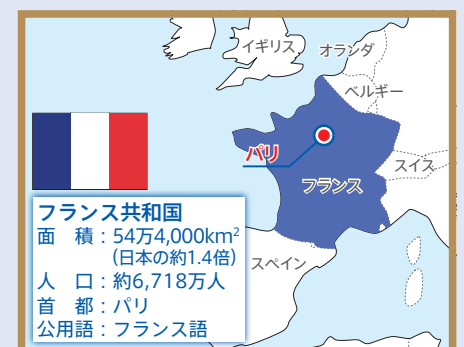
また、フランスは、柔道、空手、合気道が盛んな国でもあります。私の周りでは、武道を通じた日仏交流も盛んです。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、空手が正式種目となるそうで、日本へ観

戦に行くと盛んに話しています。文化・スポーツを通じて日仏交流がさらに発展し、そして、世界につながる交流となることでしょう。

個人的には、先日、野村萬斎さんの狂言の公演を観てきました。フランス人はもちろんのこと、フランスに住んでいる日本人にとっても、日本の本物の文化に触れる、貴重な機会です。日本人として大変誇らしく、うれしく思いました。

Vive l'amitié franco - japonaise!  
日仏友好万歳!

(文・写真：岩岡基久乃さん提供)



フランス共和国  
面積：54万4,000km<sup>2</sup>  
(日本の約1.4倍)  
人口：約6,718万人  
首都：パリ  
公用語：フランス語